社会に笑顔

地域に根ざした
社会貢献活動への取り組み

2018年度の
工場での見学会の
実施回数
約180回

社会の一員として、それぞれの国や地域の皆さまと連携し、持続可能な社会の実現と社会の笑顔に貢献します。

地域社会への貢献活動

全国各地のお祭りや各種のイベントへの参加 、協賛、関連商品の製造、販売をすることで各地の観光や産業の活性化へのお手伝いをしています。また、工場や販売拠点に近い地方自治体とパートナーシップ協定や災害時の物資協定を結ぶことで地域の方が笑顔になるための貢献、地域とのつながりを大切にしています。

地域の方を対象とした工場見学会の実施

東洋水産グループの工場では、工場見学を受け入れています。2018年度は、全国で約6,700人の方が見学に訪れました。

信太山クロスカントリー大会への協賛

▶関西事業部・CSR広報部

第66回信太山クロスカントリー大会in大阪和泉へ協賛しました。大会ではキッチンカー「マルちゃん正麺GO !」を出展し、大会参加者や応援者に向けて、マルちゃん正麺の試食を行いました。本格的な麺と温かいスープに多くの方が笑顔になっていました。

「マルちゃん正麺GO !」による試食提供

地域に密着した活動に積極的に参加します

第66回信太山クロスカントリー大会 in 大阪和泉に、マルちゃん正麺の試食提供スタッフとして参加しました。会場は、参加者とその応援者で賑わっており、「マルちゃん正麺GO !」のブースへも多くの方に訪れていただきました。試食を楽しみに待つ様子が大変印象的で、皆さまに温かい一杯を提供することにより笑顔を届けることができました。

SMILE VOICE

CSR広報部
織田 直弥

地方自治体との協定

関東工場の所在地である群馬県館林市や埼玉工場の所在地である埼玉県と日高市、本社所在地の東京都および近隣の神奈川県と「災害時の物資の供給に関する協定」を締結しています。また、北海道事業部では、所在地である小樽市と「災害時の物資の供給に関する協定」を含めた「包括的パートナーシップ協定」を締結するなど、市民の皆さまが身近に感じられる企業でありたいと考えています。

2018年度の小樽市での食育イベント

持続可能な原料の調達

生物資源やそれを育む生態系に配慮し、持続可能な原料調達への取り組みを行っています。また、グローバル化した原料調達に伴う国際的な社会課題についても取り組みを進めていきます。

持続可能な水産資源の調達について

水産資源保全と海洋環境保全を目的として漁業管理されたMSC認証原料・ASC認証原料を取り扱っています。2006年に日本で最初にイクラ・筋子商品においてMSC-Coc認証を取得した後、鮭や辛子明太子へ魚種認証を広げています。現在は養殖漁業管理であるASC認証を一部の魚種で取得し、新たにエビ商品への拡大も検討しています。

※MSCとはMarine Stewardship Council：海洋管理協議会の略で、持続可能な天然魚漁業の認証を行っている機関です。ASCとはAquaculture Stewardship Council：水産養殖管理協議会の略で養殖魚漁業の認証を行っている機関です。

認証パーム油の取り組みについて

即席麺の原材料のパーム油について、2016年に米国のマルチャンインクが、RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）に加盟していましたが、2019年1月に東洋水産グループとして加盟し、グループ全体で取り組める体制となりました。マルチャンインクでは2020年末までに認証パーム油に切り替えることを目標にしています。今後も原産国における自然環境や人権問題に配慮した認証パーム油の調達に向けて取り組みます。

パーム油の原料となるアブラヤシの実